

2025年1月12日（顕現後第1主日・主イエス洗礼の日、C年）

牧師メッセージ

「天が開かれた」

（ルカによる福音書3:15-17、21-22）

司祭ヨセフ太田信三

洗礼者ヨハネは、人々が救い主イエスを迎える備えをするために、神によって遣わされました。人々は洗礼者ヨハネを救い主だと思っていました。しかし、洗礼者ヨハネはイエスこそが救い主であると人々に告げます。そして、そのイエスが洗礼者ヨハネのもとを訪れ、なんと民衆と同じ洗礼を受けたのです。

なぜイエスが洗礼を受けたのでしょうか。それは、私たちとご自分が一緒になるためです。民衆はメシアを待ち望んでいました。ヨハネのもとに押し寄せる人々の光景を想像すると、その切実さが伝わってきます。どうしたって神から離れてしまう、罪から離れられず、苦しみつつも、しかし何とかして神とともにある命を生きたい、救われたいと願う人々。これは私たちの姿でもあります。イエスはご自分も洗礼を受けることで、この人間たち＝私たちと同じになられたのです。

救い主イエスの歩む先は十字架です。その歩みの始まりこそ、この洗礼でした。神は洗礼によってイエスに霊を降し、これから徹底的に神に従って歩むご自分の独り子、イエスの十字架への歩みを支えます。受洗後すぐに祈るイエスに、天が開け聖霊が鳩のように降りました。イエスの受洗とともに、神の介入が開始されたのです。イエスは洗礼を受け、今、神の霊とともに歩み始めます。さらに、神は声で語りかけます。「あなたは私の愛する子。私の心に適う者。」神は限りない愛と祝福によって、イエスを励まし、勇気づけました。イエスはこうして、神からの霊と励ましを受け、神の救いを待ち望む人々のところへと遣わされていきます。

天が裂けるとは、絶たれていた神との関係が修復され、天と地との間に対話が始まったことを表します。イエスは洗礼により霊を受け、限りない神の愛に包まれ、神と人とを結ぶために十字架への道を歩み始めます。十字架によってもたらされる罪の赦しとは、神から離れていた命が再び神に結ばれることです。イエスの洗礼によって天が開かれ、イエスの十字架上の執り成しによって、私たちは神に結ばれます。こうして、十字架のイエスを通して、私たちと神との道が通じ、イエスに降ったのと同じ神の霊と祝福に満たされた命が私たちにも届けられるのです。神に結ばれ、霊とともにある命。これこそ、父と子と聖霊の御名によって洗礼を授けられた私たちの命です。イエスによってもたらされたこの命を私たちはいただいているのです。